スティーヴン・ムシン　ワークショップ「道後夜話　茶話会」への参加のお願い

道後オンセナート 2014 の地域参加プログラムとして、オーストラリア・メルボルン出身のスティーヴン・ムシンが、街に新しい夜景を創りだす影絵の作品を制作します。本ワークショップでは、その影絵の素材作りのために、旅館、商店、学生、学校の先生、まちのガイドほかさまざまな人たちに集まってもらい、世代や立場を超えたグループごとに日々の生活や将来への願いの聞き取りと意見交換を行い、空想の道後の未来物語を作り出します。

テーマ「**The People's Projections Project - *Floating on steam***−みんなで作る影絵『湯気に浮かぶ温泉』

今から 3,000 年前に発見されたと言われる道後温泉。人々は以来、癒やしや交流を求めこの場を訪れました。そして 1,000 年後、人々は、はしごを登り、空に浮かぶ温泉に集まります。その頃、眼下には広い海が広がっていました------。1000 年後には海抜が 70m 上がると言われています。ただし、理論上は地熱を利用して空に浮かぶ建物を作ることができます。となると、道後温泉は未来図はいったいどういうものになるか？　その仮定を元にお話を作っていくワークショップです。

参加者：街のひとびと。最大 30−40 名まで参加可能。

場所：椿の湯２階

日程：３月３１日（月）第 1 回　13：00〜16：00　／　第 2 回　18：00〜21：00

13：00　　参加者およびアーティストの各自己紹介／グループ分け

13：30　　日々の生活や仕事、学校の様子など浮かぶ温泉のまわりにできる「まち」の姿を想像し話し合います。

14：30　　ワークグループごとの発表

15：00　　全体でのディスカッション

16：00　　終了予定

※第 2 回も上記同様に 3 時間の中で時間配分を行いながら進めます。

スティーヴン・ムシン（ Stephen Mushin ）

オーストラリア・メルボルン在住。エコロジーをテーマに、デザインとアートの分野で活躍。ドローイング、パペットワーク、子どもとのワークショップを通じたインスタレーション制作などさまざまなメディアで、サステナブルな、かつ楽しげな空想未来を描く。